

# 平成19年度山形県試験研究機関試験研究課題 事前評価結果報告書

平成19年9月 山形県研究評価委員会

## 1 平成19年度実施予定課題の事前評価について

### (1) 評価の視点

課題の設定や研究計画の内容について、目的の明確性、研究進度に応じた熟度、成果波及の可能性、研究手法の妥当性の視点で評価を行った。

### (2) 評価の実施課題と方法

対象課題は、平成19年度実施予定課題で平成19年度の競争的資金への応募等により新たに研究に取り組む課題のうち、これまでに研究評価を受けていない工業技術センター13課題と畜産試験場1課題の計14課題について事前評価を実施した。課題のうち公募型研究は4課題、一般研究は10課題であった。

これらの課題について、8月に書面により研究計画への質疑等を行ったうえで、意見および評価をとりまとめた。

## 2 事前評価の結果について

事前評価を実施した課題については、評価結果およびコメントを付して各部局に評価結果を通知するとともに、県のホームページで公表する。個別課題の結果と意見は次のとおりである。

評価結果	研究課題数
・今後の研究展開が期待でき、要求どおり措置し、実施すべき課題 ・公募型研究課題にあっては、今後の研究展開が期待でき、申請を妥当とする課題	
・概ね的確であるが、さらに研究計画を精査し、または研究を特化したうえで実施すべき課題 ・公募型研究課題にあっては、申請を妥当とする課題	10
次の事項に係る研究会の実施等から取組みが求められる課題 ・研究の手法、競合研究や周辺特許などの状況について調査・学習 ・市場性、マーケティング戦略、研究や産業化の実現可能性等の調査検証 ・公募型研究課題にあっては、申請内容の見直しをして進めるべき課題	4
提案内容について今後さらなる検討を要する課題	×

平成19年度 県試験研究機関研究課題 事前評価結果

整理番号	研究課題名	試験研究機関	外部評価結果	評価委員会助言・指導
1	低コスト赤外光学素子製造技術の開発	工業技術センター		特殊形状レンズの製造分野は、まさに企業のノウハウとして蓄積されている部分であるが、既存技術やノウハウを可能な限り探索し、これまでに蓄積した知見を活かして是非目的を達成することを期待します。
2	ダイヤモンド平バイトによる単結晶シリコンの高効率旋削加工技術の開発	工業技術センター		想定される課題をよく整理して、制御パラメータの最適値をシステムティックに追及し、よい成果を積み重ねられることを期待します。最終的には、獲得した成果の位置づけを明確にしてください。
3	画像処理による分光分析に関する研究 (「木材中の有害成分判別装置の評価と改良に関する研究」の再委託研究テーマ)	工業技術センター		判別精度に影響を及ぼす外部因子をどう基準化するのかが検討を深め、判別に至るまでの原理的なモデルを明確にしたうえで、達成目標を定量的に設定し実用的な成果に到達されることを期待します。
4	光学材料の微細加工(仮)	工業技術センター		連携の必要性を整理し、提案書にこれを具体的に書き込まれたい。他の共同研究機関との情報共有を密にして全体像を捉えながら、研究を進めてください。
5	超硬合金の研削溝加工技術の開発	工業技術センター		克服すべき技術的課題を明確にしながらか計画的に取り組み、早く成果を出されることを期待します。自らの技術を整理し直す機会としても利用できるでしょう。
6	高硬度材における穴加工技術の確立	工業技術センター		克服すべき技術的課題とその克服方法の考え方や意義を常に意識しながら計画的に取り組み、早く成果を出されることを期待します。
7	高硬度材を対象とした高精度鏡面研削加工技術の確立	工業技術センター		この課題に対する実現可能性を具体的にイメージしながら計画的に取り組み、早く成果を出されることを期待します。
8	樹脂用金型加工技術の高精度化	工業技術センター		具体的な達成目標を定めたいと取り組み、体系的な成果が得られることを期待します。
9	脆性材料の研削加工技術の開発	工業技術センター		より一層の技術の蓄積を図り、早く製品化に結びつけてください。同時に、成果を自らの技術の体系づけに結びつけられることを期待します。
10	石英ガラスの研削加工技術の開発	工業技術センター		技術の蓄積を行い、早期に製品サイズへの展開を図られたい。加工プロセスのモデル化まで踏み込んで、成果を自らの技術の体系化に結びつけるとともに、この分野での位置づけも明確にしてくれることを期待します。
11	添加剤による機能性複合めっき被膜の改良	工業技術センター		めっきプロセスのモデルを構築しながら克服すべき課題を明確にし、計画的に取り組み、早く成果を出されることを期待します。
12	MEMS技術を用いた走査型電子顕微鏡用試料セルの開発	工業技術センター		克服すべき技術的課題を明確にしたうえで、計画的に取り組み、早く成果を出されることを期待します。その際、具体的な観測対象を仮定して進めることが効果的と思われます。
13	有用乳酸菌の分離と利用技術開発	工業技術センター		食品素材の新しい利用手法の一つとして食品加工への応用が期待できます。しかしながら、有用乳酸菌を活用した高付加価値の加工食品開発の研究は多くあり、戦略的に他と差別化できるものやその方法などを明確にして進めるべきと考えます。
14	フィールドでの黒毛和種牛肉の食味成分と関連遺伝子の調査	畜産試験場		FASN 遺伝子型と脂肪交雑の関連性を明らかにするには多くのサンプル調査が必要となります。有意義な研究なので、発現頻度への影響として飼料成分などの因子が関係しないかなどの検討も含めて研究を推進してください。